

伊香保川柳大会 お知らせ

大会当日、当日句に
投句なされた方から抽選で
「伊香保温泉宿泊券」
が当たります!



文学の小径

投句募集中

湯の町文学の街へどうぞ

川柳に興味をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。

島田駱舟さんと木暮陶句郎さんの対談、6人の選者による事前投句・当日投句の入選句・特選句の発表など、どうぞ湯の町伊香保でお楽しみください。ご家族やご友人もぜひお誘いください。

対談

「川柳と俳句
（上達の秘訣）」

木暮陶句郎
島田 駱舟

選者(事前投句)

雑詠(共選)

田中寿々夢 鈴木順子
前橋川柳会 豊橋番傘川柳会



課題「水」

平野さちを
NHK学園



課題「長い」

恒弘衛山
弓削川柳社



選者(当日投句)

課題「保つ」

青砥たかこ
鈴鹿川柳会



課題「アート」

高鶴礼子
ノエマ・ノエシス



開催日時 平成29年6月2日(金)
13:00~16:00

会場 伊香保温泉 ホテル天坊

投句締切 平成29年3月22日(水)

主催: NHK学園

共催: 渋川伊香保温泉観光協会

後援: 文化庁・NHK 前橋放送局

一般社団法人全日本川柳協会・上毛新聞社(予定)

協力: 前橋川柳会

投句要領

規定の用紙（コピー可）または大きさなど同形式でご投句ください。
ひとり何組でも、どなたでも応募できます。
（雑詠一句または雑詠一句＋各題二句）

雑詠

課題「水」「長い」

- 未発表の自作に限ります。
- 二重投句は固くお断りいたします。
- 投句後の作品訂正、さしかえはできません。
- 同一作品 酷似作品が先行して発表されていた場合、入選・入賞を辞退していただくことがあります。

投句料

※課題のみの投句はできません。

- ① 雑詠二句の場合 1,200円
- ② 雑詠二句と課題「水」「長い」各二句、計六句の場合 2,400円
それぞれ、一冊の入選作品集代を含みます。
- 当日投句のみの参加は当日1,200円をいただきます。
- **送金方法**
郵便為替（定額小為替、普通為替を郵便局で購入）、現金書留、郵便払込のいずれかをご利用ください。（切手の代用は不可）

郵便払込をご利用の場合

● 同封の郵便払込取扱票の通信欄に大会名、組数と投句料をご記入の上、払込みください。同封の用紙をご利用の場合、振替払込受付証明書を「のりしろ」欄に貼り付けて、ご応募ください。

□座番号：00140131687741
加入者名：NHK学園 俳句・短歌・川柳大会

投句締切 平成29年3月22日(水)消印有効

賞・発表

- 各題ごとに特選、秀作、佳作。（内定者には大会前に文書でお知らせします）
- 大会大賞／文部科学大臣賞の候補作品となります。
- 特別賞／全日本川柳協会賞ほか。
- 入選作品は「作品集」にまとめ、大会一ヶ月後に投句者全員に郵送します。

会場参加無料

● 入場券が必要です

入場券一枚につき、二名様ご入場できます。

● **投句して会場参加ご希望の方は**
投句用紙の「参加希望」欄に○印をつけてください。

※入場券を郵送いたします。

● **会場参加のみご希望の方は**
往復はがきでお申し込みください。

※返信にご自分の宛名をご記入ください。

送っていただくもの
① 投句用紙（折っても可）
② 投句料（郵便払込の場合は振替払込受付証明書またはその写し）

お問い合わせ先・投句先

〒186-8001
東京都国立市富士見台2-136-2
NHK学園 伊香保川柳大会事務局
☎042-1572-1315（代）

対談

「川柳と俳句 ~上達の秘訣~」



木暮 陶句郎
「ひろそ火」



島田 駱舟
「印象吟句会銀河」

伊香保生まれ、伊香保在住の俳人・陶芸家の木暮陶句郎さんとNHK学園川柳講座専任講師、「ラジオ文芸選評」選者の島田駱舟さん。
ナイスミドルのお二人が、「五・七・五」の詩型の魅力を語ります。

当日投句募集

課題

「保つ」
「アート」

● **どなたでも投句できます**

（投句用紙は会場受付時にお渡しします）
事前投句をされた方は無料。
当日投句のみご参加の方は投句料1,200円をいただきます。（入選作品集代を含みます）

投句締切

大会当日 午後12時50分



▼ご投句には、点線を切り宛先として貼ると便利です。

〒186-8001 東京都国立市富士見台2-36-2



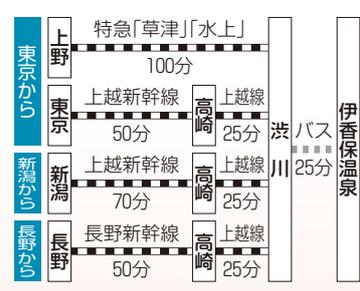
伊香保川柳大会事務局 御中

投句中

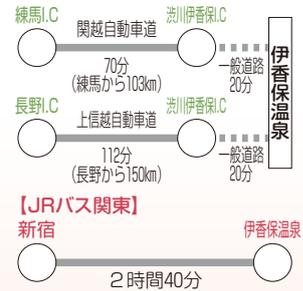
会場までのご案内

※会場参加ご希望の方には、5月中旬に会場までのご案内を入れた入場券をお送りします

【列車の場合】



【クルマの場合】



【JRバス関東】



伊香保

ご案内

長い歴史をもつ伊香保温泉の町並みは、名所石段街を中心に、昔ながらの素朴な温泉情緒でいっぱいです。温泉で旅の疲れを癒した後は、伊香保の街を散策してみませんか。



河鹿橋

伊香保温泉源泉近くにある朱塗りの太鼓橋。紅葉の時期には、毎年ライトアップの演出を行っていて「夜の紅葉見物」の名所として知られています。



石段街

伊香保温泉街のメインストリート。石段の両脇に温泉旅館やお土産屋、射的の店などが並び、温泉情緒たっぷり。徳富蘆花の小説「不如帰」の舞台にもなり、石段の途中には与謝野晶子の「伊香保の街」の詩が刻まれています。



峠の公園

「伊香保公民館」のある信号機の三差路にあります。明治43年から昭和31年まで、渋川と伊香保の間には路面電車が走っていました。峠の公園では、活躍した路面電車（通称：チンチン電車）を保存展示しています。



伊香保温泉飲泉所

明治初期に「日本温泉医学の父」といわれるベルツ博士から国内で初めて医学的温泉療法の指導を受けた名湯。伊香保神社から伊香保露天風呂に向かう途中にあり、だれでも気軽に温泉が飲用できます。

名物鑑賞

人恋し人煩わし波の音

西尾 葉

漢字は面白いと思う。「人」という字は支えあう形に見える。譲り合い助け合い一期一会の縁で繋がっている。それなのに人の心は気紛れだ。時にその思いやりさえも煩わしく思う。ひとりになりたい！そして又人恋しの想いが募る。一人では居られない！「恋し」「煩わし」の相反する言葉が心に迫ってくる。このもやもやをどう処理したものか？「波の音」ですとんと胸に収まった。

今嘘を書けばきのうも嘘になる

八木千代

大人の女性、しかも恋をする女性の姿が浮かんでくる。今書こうとしている嘘とは、一体どんな事なのだろうか？明日やこれから先は覚悟の上だが、昨日が嘘になってしまふのが悲しい。昨日がどんなに大切な日であったかが想像される。心はとうに決まっているのにペンを持つ手が又悩ませる。揺れる心の葛藤が伝わってくる。女性作家ならではの目線、心理描写に心を奪われてしまう。

(川柳春秋123号より NHK学園川柳講座添削講師)

イベント・宿泊・観光のお問い合わせは

一般社団法人 渋川伊香保温泉観光協会

〒377-0102 群馬県渋川市伊香保町54-1-4

TEL 0279-17213151

FAX 0279-17214452

*直営露天風呂：TEL 0279-172-24008

*ホームページ：http://www.ikaho-kankou.com/

あなたの川柳を句集にまとめてみませんか！

自費出版 個別相談会を開催します

- 全国各地で活躍している講師陣が、ていねいに添削指導します。
- 数多くのアドバイスを受けることが実作力アップへの近道です。

通信講座パンフレット(無料)のご請求は

0120-06-8881



予約制・参加費無料

▶ 3月24日(金) アルカディア市ヶ谷

会場にお越しになれない方は、お電話やお手紙にて相談を承ります。

NHK学園

〒186-8001 東京都国立市富士見台2-36-2 6B60係

FAX 042-572-0061 TEL 042-572-3151(代)

ホームページ http://www.n-gaku.jp/life